

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 9月 5日 更新

事務事業名		天文台活用事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会	課長名	上原 哲也
	施策	21	生涯学習の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	末永 舞
	基本事業	67	学習への参加機会の提供				所属班	図書館班	(内線)	2532
予算科目		会計一般	款10	項5	目8	事業連番10814	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	毎週土曜日の夜に西合志図書館の2階天文台にて一般公開の星空観望会を開催している。対象は合志市民に限らず、市外からも広く受け入れている。観望会参加は無料。定期の観望会のほかに、季節の天文現象に合わせた特別観望会(不定期)も開催。また、親子星空教室なども実施している。天文台の運営は基本的にボランティアによる天文台指導員が行っており、観望会や各種イベントの際には、天文についての説明・望遠鏡等の解説をする。
【業務の流れ】	年間計画の作成。定期・特別観望会、イベントの開催。天文台広報チラシ(毎月)の作成。団体からの依頼星空観望会への対応。
【主な予算費目】	報償費(天文台指導員)、消耗品費(広報チラシの用紙)
【意見や要望】	利用者からは、もっと市民にその存在や活動をアピールしてもらいたいとの意見が寄せられた。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
毎週土曜日の定期観望会のほか、特別観望会等を行った。延べ878人の参加があった。		毎週土曜日の定期観望会のほか、特別観望会等を行う。例年通りの行事内容予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア:開催日数	日	天体望遠鏡修繕費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
天体に興味がある市民及び周辺自治体住民	人	→ア:市民
	人	→イ:県民
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
多くの人に天文台を知ってもらい、利用してもらう	人	→ア:利用者数
	人	→イ:
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費 の推移			単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	ア	日		38	34	35	32	35	35	35	35
	イ										
② 対象指標	ア	人		55,498	56,595	55,000	57,501	58,000	58,000	58,000	58,000
	イ	人		1,811,204	1,811,490	1,820,000	1,801,169	1,820,000	182,000	182,000	182,000
③ 成果指標	ア	人		818	841	1,400	878	1,000	1,000	1,000	1,000
	イ										
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	426	894	1,099	842	816	624	584	584
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	426	894	1,099	842	816	624	584	584
		(A)のうち指定経費	千円	4	9	14	3	14	14	14	14
		(A)のうち時間外、特勤	千円	4	9	14	3	14	14	14	14
		人件 費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4
	延べ業務時間		時間	172	182	192	182	192	192	192	192
	(B)人件費計		千円	708	734	775	740	775	775	775	775
トータルコスト(A)+(B)			千円	1,134	1,628	1,874	1,582	1,591	1,399	1,359	

事務事業名	天文台活用事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 今年度は6月の梅雨の時期以外にも、9月の西合志図書館屋上改修工事のため1ヶ月間中止となったため、開催予定日数の目標達成に及ばなかった。	☒ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 次年度は、改修工事等の見込みはないので、雨天時以外の中止を除き、前年度同様定期観望会の開催をするところである。また、特別観望会等を予定しているので目標達成余地あり。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 もっと天文台の存在や活動をアピールし、市民をはじめ多くの方々に利用してもらう。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の目的（意図・対象）をもつ事業が他にない。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 活動の計画や準備、一般公開といった運営のほとんどをボランティアの天文台指導員に協力いただいているため。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 活動の計画や準備、一般公開といった運営のほとんどをボランティアの天文台指導員に協力いただいているため。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 無料で公開しているため。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 現在の観望会の運営は天文台指導員（ボランティア）が行っている。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

ボランティアの指導員の登録者が減少しており、イベントの際に対応が行き届かないこともあるが、知識をもった指導員のもと、多くの市民に高度な天体観望会及び情報を提供できている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								